

2022年度 高等学院同窓会学術研究奨励金  
研究成果報告書概要（WEB公開用）

高等学院長  
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [ 重松海規 ]

学年・組・番号 [ 2 年 D 組 36 番 ]

研究課題： 織田信長の天下統一への道～物流拠点の確保とそれらを繋ぐ街道の整備から～

(英文) Nobunaga's ambition to unification of the whole country, domination of Hubs & Road Improvement

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200～400字で記入してください)

織田信長がなぜ有名なのかという、それは彼が戦国時代を終わらせ、天下統一まであと一歩のところまで来たからだろう。そして、私は彼がそれをなし得た理由は、彼の物流拠点の確保とそれをつなぐ道の整備による物流の効率化にあると思う。なぜなら、物流網を整えることは軍事・経済の発展とも密接に関わるものだからである。だが、彼の物流網についての研究はまだ少ない。そこで、今回の研究では信長の形成した物流網から、彼の独自性を調べ、「なぜ彼が戦国時代を終わらせることができたのか」についての一つの答えを出したいと思った。

そこで信長が街道の整備のために行った土木事業や、物流拠点の開発事業や経済政策について調べようと思い今回の研究では主に以下の二つの方法を採用した。1つ目に大学図書館で信長が行った経済事業や政策についての資料を集める。2つ目に信長が重要視した物流拠点である堺・大津・草津に行き、戦国時代当時の物流拠点の姿を知ることである。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200～400字で記入してください)

研究を通して桶狭間以前から織田信長は、物流拠点やそれらを繋ぐ航路を重要視していたことは織田信定、信秀等の政策を受け継いだことが大きいと分かった。それだけでなく、信長が彼の独自の都市開発を行うことにつながる居城の移築も、元は信秀が行っていたことが分かった。このことから、彼も信長と同様破天荒であり、彼こそが織田信長の基になった人物なのではないかと思った。そのため、次回の研究では織田信秀について調べたいと思う。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 重松海規

研究分担者

担当教諭 松澤徹

(受給額：30000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します  
(次のページに続きます)

研究成果写真 :

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上